

○各科目の主な学習内容

教科	科目	主な学習内容
国語	現代の国語 (基礎)	現代語で書かれた随想・評論などを「読むこと」や、ある話題について「話すこと・聞くこと」「書くこと」を学習します。
	言語文化 (基礎)	現代語で書かれた小説・詩歌や古文・漢文を「読むこと」を学習します。また、それらをもとに「書くこと」も学習します。
	現代の国語 (標準)	現代語で書かれた随想・評論などを「読むこと」や、ある話題について「話すこと・聞くこと」「書くこと」を学習します。「現代の国語(基礎)」よりも高度な内容になります。
	言語文化 (標準)	現代語で書かれた小説・詩歌や古文・漢文を「読むこと」を学習します。また、それらをもとに「書くこと」も学習します。「言語文化(基礎)」よりも高度な内容になります。
	文学国語	現代語で書かれた随想・小説・詩を「読むこと」を学習します。また、それらをもとに「書くこと」も学習します。「言語文化(標準)」よりも高度な内容になります。
	現代文B	旧「国語総合」で学習した内容に基づき、近代以降に書かれた文章を読みます。旧「国語総合」よりもやや難しく、長い文章が多くなります。
	古典B	生涯にわたって古典に親しむための力をつけます。古文・漢文の両方を学習します。多くの作品を読むというのが目標ですので、一つのレポートで複数の作品を学習します。漢文は自分で書き下し文にできる力が必要になります。さらに現代文の長文読解の力も必要です。古典に描かれた人々の考え・生活に深く触れていく学習です。
地理歴史	地理総合	「持続可能な社会」づくりをめざし、現代の諸課題を考察します。また、GIS(地理情報システム)と防災について理解を深めます。
	地理探究	「地理総合」をふまえて、世界の産業や生活文化、諸地域について考察を深めます。また、持続可能な国土像を探究します。
	歴史総合	近現代史に重点を置き、世界と日本の歴史を相互的な視野から捉え、現代の諸課題を学習します。また、日本だけでなく、他国の歴史や文化を尊重する大切さも学びます。
	日本史探究	「歴史総合」をふまえ、我が国の歴史について、資料を活用し多面的・多角的に考察する力を身に付け、現代の日本の諸課題を見出して、その解決に向けて考察、構想することができる資質・能力を育成します。
	世界史探究	「歴史総合」をふまえ、諸地域の歴史的特質形成を学び、世界の歴史の大きな枠組みやその展開をより深く理解し、地球世界の課題を探究する力を育成することを目的とする科目です。
	世界史B	現代の世界がどのように形成されてきたのか、事実に即して具体的に学んでいきます。それぞれの時代ごとに、政治的・社会経済的・文化的特徴を理解していきましょう。これまでの歴史の上に現在があることに気づき、興味・関心を持って取り組んでいきましょう。
	日本史B	原始・古代から現代までの日本の歴史を学びます。歴史の大きな流れを把握しましょう。世界史との関わりの中で日本史を学ぶことで、現代に生きる私たちのあり方を考えていきます。日本の歩んできた道を現代に生きる自分自身と関わらせながら学んでみましょう。
	地理B	私たちの身のまわりの生活環境を理解することで、防災にも役立れます。また、世界各地の多様な人々の生活を学び、異文化理解を深めることで、国際社会で必要とされる資質を養います。さらに、人口や環境など地球的な課題について学び、自分ができることを考えていきます。

教科	科目	主な学習内容
公民	公共 (前期)か(後期) を選択	現代社会にはたくさんの課題が存在します。社会の仕組みを理解し、社会の課題を解決するための知識や理論について学び、解決策を考える科目です。
	倫理	誰もが、生きる意味とは何かということを考えることがあります。よりよい生き方とは何か、自分とは何か、人間とは何か、といったような問いについて、先哲の思想に触れながら、考える科目です。
	政治・経済	グローバル化した現代では、社会に多くの課題が存在します。この科目では、その課題を追究して、その解決方法を探究する学習を通して、将来よりよい社会を共に作っていかうとする自覚を深めることを目標としています。
数学	数学Ⅰ (基礎)	計算を中心に中学校の学習内容を復習した後に、高校課程の基礎的な内容を学習します。
	数学Ⅰ (標準)	数学の基礎となる整式の加減乗除・因数分解などを学んだ後に、2次関数・三角比などについて学習します。数学Ⅱ・数学Aの学習を考えている人は、この科目を学習してからにしましょう。
	数学Ⅱ	数学Ⅰを発展拡充させたような学習内容です。「方程式・式と証明」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分と積分の考え」について学びます。かなり難易度が高いため、大学進学のため受験科目に必要な人向けのレベルの科目です。(数学Ⅰの学習内容を十分理解していること。)
	数学A	「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」を学習します。計算問題に加え、文章問題や証明問題を含むため、国語力が重要なカギを握ります。
	数学B	数学Ⅰを学習した後に学習する科目です。1章「数列」を学習し、数の列の規則性を見だし、それを式に表すことで公式の有用性を学びます。難易度が高いため、国公立大学や私立理系大学の受験を考えている人向けのレベルの科目です。
	数学C	数学Ⅰを学習した後に学習する科目です。1章「平面上のベクトル」、2章「空間のベクトル」を学習します。向きと大きさを持った量を有向線分で表わし、その有向線分の演算を学びます。難易度が高いため、国公立大学や私立理系大学の受験を考えている人向けのレベルの科目です。
理科	科学と 人間生活	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事象や現象を自ら振り返って考察します。科学的な視点や考え方を学びます。
	物理基礎	自然事象について物理的考察を深めます。さらに、計算問題を解きながら、自然事象の奥深さを確かめていきます。科学と人間生活を学習してから学ぶことをお勧めします。
	化学基礎	私たちの身の回りにおける物質の性質やそれらを構成する元素について学びます。原子の構造やイオンのでき方、また酸塩基の反応、酸化還元反応など基本的な化学変化について学びます。
	生物基礎	生物の特徴(細胞・呼吸・光合成)、からだの調節(血液・尿・神経・ホルモン・血糖値・免疫)、遺伝、DNA、生態系システムなど、身近な生物から最近話題の遺伝子の問題まで広い範囲の勉強をします。
	地学基礎	宇宙の中の地球、地球に暮らす私たち人間と多種多様な生物、これらの進化と相互の関わりについて、過去から現在へととりながら学習し理解を深めます。
芸術	書道Ⅰ	日常的・実用書写を学ぶとともに、現代の表記文字である漢字仮名交じり文を書として自己表現します。また、古典や現代の書の学習活動を通して多様な書美に触れ、より豊かな感性を育み、表現する楽しさを味わいます。 書道用具一式を準備してください。その他に後期の学習に必要な「仮名筆」を教科書購入時に合わせて購入することになります。

教科	科目	主な学習内容
外国語	英語 <small>コミュニケーション</small> Ⅰ (基礎)	中学校の学習内容の基礎を復習しながら、高校課程の基本的な内容を学習していきます。
	英語 <small>コミュニケーション</small> Ⅰ (標準)	上記、英語コミュニケーションⅠ(基礎)と同じ教科書&学習書を使用して学習しますが、学習内容は英語コミュニケーションⅠ(基礎)より発展的な内容です。中学校の学習内容(語彙・文法・構文・読解力等)を理解していることを前提とした学習内容です。
	英語 <small>コミュニケーション</small> Ⅱ	「英語コミュニケーションⅠ」の内容を踏まえつつ、さらに発展的な英文や文法、表現を学習します。そのため、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容を十分身につけていることが望まれます。
	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅠの学習を終えた人を対象に、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図ります。
家庭	家庭総合 (前期) (後期)	(前期)人の一生と家族・家庭、保育・高齢者及び福祉について、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を体験的・総合的に身につけることを目標とします。 (後期)衣食住、消費生活・環境について、生涯を見通して課題を解決する力、また様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につけることを目標とします。
	保育基礎	保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について、またそれに関する技術を身に付け、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を身に付けることを目標とします。
	フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて理解し、食生活の総合的なデザインと食育の推進に取り組む態度を身に付けることを目標とします。
	ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、ビジネスの諸活動に対応できる心構えと能力を身に付けます。
商業	ビジネス法規	ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解を深めます。また、経済事象を法律的に考え判断する能力と態度を身に付けることを目指します。
	簿記	企業における取引を記録・計算・整理できる能力を身に付け、1年間で簿記検定3級に合格できる力を養うことを目標とします。